

2008年1月12日 土
～ 3月2日 日



くらしの中の道具

ちよつと昔の道具たち

体験教室

「わらぞうりをつくろう」

2月3日(日) 午後1時～4時

定員 15名 参加費無料

* 電話で資料館までお申し込みください *

市民歴史大学

「聖武天皇とその時代」

1月12日(土) 午後1時30分～3時

小笠原 好彦 氏 (滋賀大学名誉教授)

「聖武天皇と恭仁京・紫香楽宮」

2月9日(土) 午後1時30分～3時

直木 孝次郎 氏 (大阪市立大学名誉教授)

「聖武天皇と遷都」

定員 90名 参加費無料 申し込み不要

柏原市立歴史資料館

開館時間 9時30分～16時30分

休館日 月曜日

入館料 無料

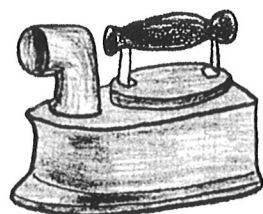
交通 JR 大和路線高井田駅から徒歩5分
近鉄大阪線河内国分駅から徒歩15分

電話 072-976-3430

—くらしの中の道具—

でんき せき ゆ べんり
電気やガス、石油を使うことで、わたしたちのくらしは、とても便利になりました。
でも、そのためにわすれてしまったことも多いのではないのでしょうか。昔のくらしは、
し ぜん
自然とともにありました。そんな昔のくらしを思い出してみるのも、たいせつなこと
ではないのでしょうか。

電気やガス・石油のないころは、すみ あぶら
炭やたきぎ（木）、なたね油など、
自然の物を使っていました。しちりんて魚を焼いたり、ひのし
すみ び
や炭火アイロンでしわをのばしたり、あたたまるためのひばちや
こたつにも炭を使っていました。炭は、かりよく
火力が強く、今でも使わ
れていますが、なかなか火がつかないことや、次々と新しい炭をいれていかなけれ



ばならず、めんどうです。おふろをわかしたり、かまどでごはん
をたくのには、たきぎをもやしました。自然の木を使うのですが、
小さく割らなければならず、けむり
煙がたくさん出るのにもこまりました。
あかりをとるためには、ろうそくやなたね油（あぶら）を使いました。
でも、それほど明るくならず、火事の心配もありました。

せんたくも、たらいとせんたく板を使って手であらいました。おかあさんにとつ
ては、これがたいへんな仕事でした。し ごと
れいぞう こ
冷蔵庫は氷を入れて冷やしました。氷屋さんが、ひ
大きな氷のかたまりを売りに来て、それを必要な大きさに切ってもらって、買いま
した。あつい夏は、戸をあけはなして、かやの中で寝ました。かやの中に入るとき
は、か
蚊がいっしょに入らないように、すばやく入らなければなりません。でも、
かやの中で寝るときは、なぜかワクワクしたものです。さむい冬はひばちやこたつ
であたたまりました。ひばちは、あたたまるだけでなく、その上で湯をわかしたり、
もちを焼いたりできました。

昔のくらしは、今とくらべると、とてもたいへんでした。今な
らばスイッチひとつでできることに長い時間
をかけなければなりませんし、力のいることも多
かったのです。でも、自然とともにすごすのが、
人間らしいようにも思います。みなさんは昔の
くらしをどう思いますか。

